

●再編後の高校のイメージについて

【意見】

- 再編の必要性は理解するが、再編後の学校をどうするかが見えてこない。どのような学校にするかということを示してほしい。

【素案における考え方】

- 当初実施計画段階でお示しする予定であった学校像や学科構成などについて、基本計画の「素案」から「案」にする段階で、一定のイメージがわくようなものをお示しし、地域の方々の不安をできるだけ取り除いていきます。
※上記にある「実施計画」とは、基本計画決定後、新校の基本理念、学科、学校規模、新校開設時期などを示す計画のことです。



●交通手段の確保や通学費負担増への対応について

【意見】

- 「交通手段の確保等に留意する」とあったが、スクールバスの運行など、その内容を早く具体化してほしい。また、地域の保護者は経済的に厳しい状況にあるので、再編に伴う通学費などの負担増加に配慮してほしい。

【素案における考え方】

- 交通手段の確保や通学費負担の軽減策について、全国の状況を調査・研究し、奨学金の検討など、地域の実情に即した対応策を検討しています。

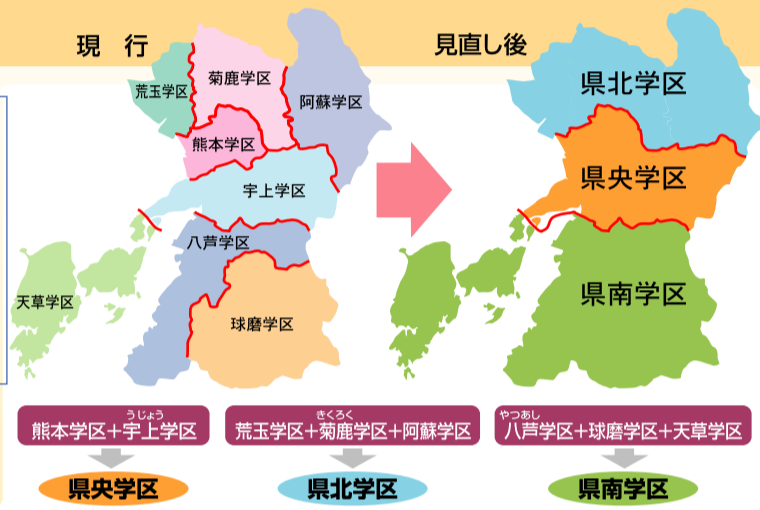
●通学区域の見直しについて

【意見】

- 熊本市内の県立高校に子どもを通わせようとする、入学者選抜学区外枠の制限があり、学区内の子どもたちに比べて数十点も高い点数をとらなければならないのはおかしい。少しでも早く全県一区にしてほしい。
- 通学区域の拡大は、生徒が熊本市内の高校へ集中することにつながるか。そのことで、熊本学区内の生徒が学区外にはじき出されることにならないか。

【素案における考え方】

- 素案では「将来の全県一区化を視野に入れて、各地域の高校の一層の特色づくりといった条件整備を行いながら通学区域を段階的に拡大する」としています。
*平成16年実施の生徒・保護者へのアンケート結果（6割が撤廃・拡大の回答）などをもとに考えました。
*全県一区にする前に、現在の中学1年生が受ける高校入試から、現行の8学区を3学区へ段階的に拡大することとしています。
●通学区域の拡大が熊本市内高校への生徒の集中を助長しないよう、一挙に全県一区にするのではなく、条件整備を行いながら通学区域を段階的に拡大することとしています。



●再編整備の進め方について

【意見】

- 計画の策定に当たっては、現地に来て、地域の意見を聞いてほしい。

【素案における考え方】

- 地域説明会の後、御要望のあった市町村や学校単位での保護者会等には、さらに個別の説明会も実施してきました。今後とも、地域の方々の御意見をできるだけお聞きしていきます。

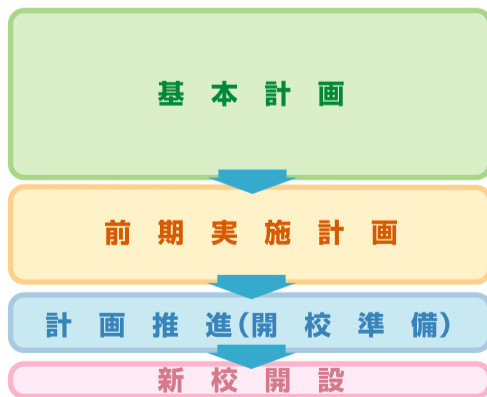
●スケジュールについて

【意見】

- 素案発表後、4か月間での決定は早急すぎる。住民の考える時間がもう少しほしい。

【素案における考え方】

- 当初、昨年中に基本計画を決定するとしていましたが、様々な御意見や御要望、県議会の議論なども踏まえ、再編後の一定のイメージがわくようなものを検討するため、スケジュールを延ばしています。



- ①平成18年7月 基本計画の素案公表、地域説明会などを実施
現在意見募集中
- ②基本計画の案公表
- ③パブリック・コメント実施
- ④基本計画決定
- ⑤前期実施計画
*新校の基本理念、学科、学校規模、新校開設時期などを示す
- ⑥新校開設の準備

●意見や提案を出すにはどうしたらよいのですか？

御意見や御提案は、随時、高校整備推進室へお寄せください。
基本計画案の策定に当たって活用させていただきます。

提出の方法
について

住所、氏名を御記入の上、電子メール、FAX、郵便でお送りください。
E-mail:koukouseibi@pref.kumamoto.lg.jp
FAX :096-384-1563
郵便:〒862-8609 熊本市水前寺6丁目18-1
熊本県教育庁 高校教育課 高校整備推進室 行